



# 園だより

## 「言葉のキャッチボール」

「ことば」と聞いて皆さんはどんなことを思われるでしょうか？

「コミュニケーションをとる時に必要なもの」、「話せないと孤立してしまう」、「自分の気持ちを伝えるもの」「通じないと不安」など私たちが日常生活を送るために必要不可欠なものと大半の人が答えるようです。その「ことば」を話すのは1歳6か月ごろからと言われています。お子さんによって個人差はあるものの単語から2語文、そして3語文と「ことばの数」は増えてきます。しかし、話せる「ことばの数」が増えれば、それでよいのでしょうか？

1番大事なのは、お子さんが話せるようになった「ことば」を使って、お父さんやお母さん、周りにいる先生やお友達と「ことばのキャッチボール」が出来るようになることだと考えています。「ことばのキャッチボール」は、話し手と聞き手がいます。そして、その役割が随時交代することが特徴です。つまり、2人の人間が「聞き手」にもなれば「話し手」にもなり、「会話のボール」を投げたり受け取ったりして、ことばだけでなく心の交流を積み重ねていくことです。

この「ことばのキャッチボール」ができる力を育てるために、おおきな樹では様々な場面でのとりくみが行われています。朝、元気に登園した子ども達が、先ず検温を測り、受付の先生に自分の体温を伝えたり、朝の会で名前を呼ばれたら、元気に手を挙げたり、給食時に「おかわりしたいこと」を先生に伝えたり・・・なかなか視線を合わすことが難しかったお子さんが、先生の方に体を向けて視線をあわせて「おかわりちょうだい」と空のお皿を差し出す。「はい、ちょっと待っててね」と先生が笑顔で答える・・・

こういった場面は普段、当たり前すぎて見過ごされがちな場面ですが、「聞き手」と「話し手」がいて「笑顔の交流があって」・・・と昨今のAI搭載ロボットとのやり取りでは経験できない「温かさ」や「優しさ」「安心感」があります。

お子さんのことばを育てるために先ず、私たちが行うことは楽しい体験やわくわくする体験を通して、人間本来の持つ「温かさ」や「優しさ」、「安心感」を感じさせてあげることだと思います。それぞれのお子さんが持っている良い所を生かしながら「ことばのキャッチボール」が出来るように、先生方と協力しながら取り組んでいきたいと思ひます。〈言語聴覚士 高濱美佐子〉



## 2月の予定

- 2日(金) 節分・豆まき
- 13日(火) 身体測定 (にじぐみ)
- 14日(水) 避難訓練・身体計測 (ほしぐみ)
- 15日(木) 誕生会 (にじぐみ) 身体計測 (つきぐみ)
- 16日(金) 引き取り訓練・帰りのバス送迎なし

※今月は、23日(金)が祝日のため、第3週の金曜日がバス送迎がない日になります。ご協力お願いいたします。



## 2月の歌

♪鬼のパンツ ♪こんこんくしゃん

## おしらせ

卒園式は、3月22日(金)を予定しています。年長児のみの参加となりますので、年中、年少・2才児はお休みとなります。ご協力よろしくお願ひいたします。

## 職員研修

12月22日の研修では、

「発達障害の理解と対応」について職員全体でDVDを鑑賞しました。どんなアイデアや支援が子どもたちに有効か、クラスごとに分かれて話し合い、明日から活かそう手法をまとめ発表をしました。話し合いでは、様々な意見が出る中で、いろいろな視点で物事を捉える重要性和、ひとつの見方に偏らない柔軟な思考がより良い支援に繋がっていくと感じました。



## おたのしみ会

12月23日におたのしみ会を行いました。にじぐみのお友だちがステージに上がり、ダンスを披露してくれて、他のクラスのお友だちも一緒になって踊ったり、体を動かしたりして、とても盛り上がりました。その後、みんなでおやつを食べ、スクリーンでDVD鑑賞をしました。最後にみんなで♪「あわてんぼうのサンタクロース」の歌を歌うと、鈴の音と共にサンタクロースが登場。サンタさんからプレゼントをもらい、にぎやかで楽しいおたのしみ会になりました。

